

令和7年度 旧香流苑跡地土地利用サウンディング 結果概要

1 日時

令和7年8月1日（金）から8月29日（金）まで

2 参加事業者

複数事業者の参加あり（※業種及び参加者数とも非公表）

3 事業者の主な意見

(1) 用途、立地等について

- ・目の前が川で隣に公園ができることを踏まえて、住宅＋他の用途（商業・福祉など）の複合利用による土地活用で、価値の向上が期待できる。
- ・マンションの場合、高級志向が良いか、1戸あたりの面積を小さくして販売価格を低く設定する方が良いか、判断が難しい。

(2) 産業廃棄物、樹木等の扱いについて

- ・杭の一部残置について、粉砕された残骸であることは理解したが、建築に影響があるかどうかはわからない。
- ・売却地に存置とされた樹木については、可能な限り活用を検討したいが、樹木の規模が大きく、維持管理が難しい。
- ・戸建て住宅の場合、共同で樹木の維持管理費を負担することに抵抗感があることが想定される。

(3) その他

- ・建設費は高騰し続けている。
- ・借地の方が活用の自由度が上がる可能性もある。

4 まとめ

昨年度のサウンディング調査に引き続き、旧香流苑跡地は、マンションをはじめとした住宅用地としてのポテンシャルを有していることが確認できた。